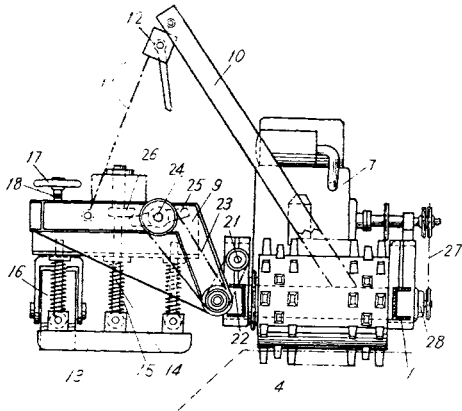


法面締固め機

特公 昭 32-6538

発明者 最上 武雄・他 2 名

転動しながら平坦面を締固める例えばローラー (4) を有するローラー機の側面に、例えば柱 (10) と手動巻上機 (12) により巻上げられる索 (11) とによつて支持される袖ワク (9) を上下方向に揺動自在に軸装し、この袖ワクに叩打板 (13) をバネ (15) によつて弾発的に取付け、この叩打木板上に往復運動を与える機構 (例えば袖ワクに架せられた横軸 (24) が回転して、この軸に固定されたカム板 (25) が叩打板の取付軸 (14) に取付けられた突出杆 (26) に当り、その叩打板をバネに抗して扛上させる) を上記ローラー巻上の原動機 (7) から側軸 (21)、V型ベルト (22)、(23) 等適宜の伝動機構を介して運転するようにした。

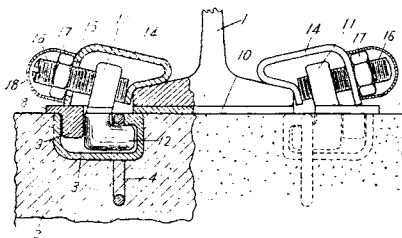


コンクリート枕木の軌条弾性締結装置

特公 昭 32-7202

発明者 市川 勇太郎

コンクリート枕木 (2) に埋設した止杆 (4) を有する埋込函 (3) に L 字型のボルト支杆の他辺 (11) を係合し、その支杆の他辺 (11) に設けられたネジ孔に嵌合するボルト (16) によつて、レール (1) 下底の上面および



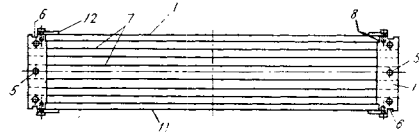
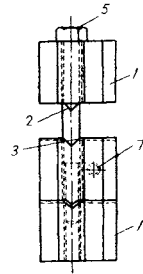
側面を押えバネ (14) の彎曲端を介して斜上方から弾性パッド (10) に押圧するとともに、そのボルトのナット (17) によつて、押えバネ全体をも押圧するようにしている。

プレストレスト コンクリート部材の製造方法

特公 昭 32-7236

発明者 長岡 勝正

上下重合面にそれぞれ鋼弦錠止用突起 (2) とこの突起が嵌入される鋼弦錠止用溝 (3) とを設け、側面に側部型ワク組立用段部 (8) と鋼弦引張装置の係止部 (6) とを設けた複数の鋼弦錠止片 (1) を鋼弦 (7) がこれらの重合面において挟着されるように組立てて締付け、鋼弦を前記錠止用突起および溝の間で彎曲させて錠止するとともに、錠止片の組立体を型ワクの一部に兼用させ、さらに鋼弦引張装置を前記係止部に係合させて鋼弦を緊張させる。図中 (11) は側部型ワク、(12) は錠止片の両側部から錠止片と側部型ワクにわたつて添設された押板を示す。

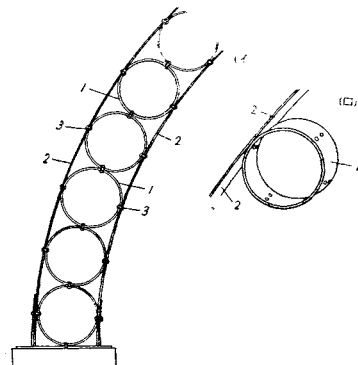


リング アーチ構築法

特公 昭 32-7238

発明者 都築 好郎

任意の間隔をもつて平板鉄板 (2)、(2) を平行させてアーチ状に彎曲し、その間の空間に平板鉄板を巻曲して構成したリング (1) を充填し、溶接または鋲着 (3) してアーチ体を構築する。

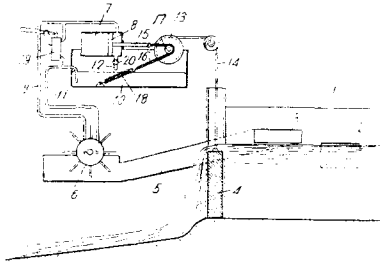


## 堰門扉自動油圧制御装置

特公 昭 32-7241

発明者 堀 威 富

用水取入口(2)の上位に越流水取入口(3)を設け、限界水位以上の越流水の一部を取入れ、その通水路(5)に落差勢力によって駆動される水車(6)を配設する一方、門扉(4)に連結した鋼索(14)を捲装した捲胴(13)のピニオン(17)に係合する連鎖(16)を作動させる啣子(8)を油圧啣筒(7)内に内装し、連鎖の他端は油溜(10)に固定した弾条(18)に連結し、油圧啣筒と油溜とをそれぞれ送油管(9)および給油管(11)によつて水車に連絡して、越流水の落差勢力を高压の油圧に変え、これと発条の牽引力とによつて自動的に門扉を昇降させ取水水位を常に一定に保持するようにした。



## コンクリート工事施工方法

特公 昭 32-7590

発明者 国生 牛彦・他1名

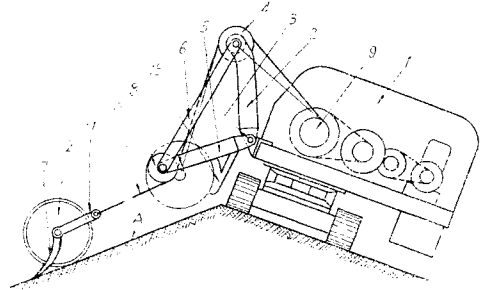
非透水性、非透湿性材料を浸透または接着したシートを内面に接着した型ワク内にコンクリートを打設し、型ワクをはずすとき、このシートだけをコンクリート面に残置させて、これによつて所要期間コンクリートを養生したのち、このシートをコンクリート面よりはく離させ、コンクリートの品質を落とすことなく型ワクの使用回転率を増大するようにしたものである。

## 法面転圧機

特公 昭 32-7591

発明者 谷 武 寿

走行車体に対して旋回自在に設けられかつ巻上機を具備した車台(1)の前面に上部突バリ(2)とローラー停止材(13)を有する下部突バリ(5)の2つを軸着(3)し、これらを連結杆(6)によつて連結し、両突バリの各先端には鋼索導車(4)ならびに誘導車(8)をそれぞれ軸支し車台の巻上機の鋼索(10)をこれらの導車に掛け、その先端を腕(11)を介して転圧ローラー(12)に連結したもので、鋼索を牽引したりゆるめたりしてローラーにより法面を転圧する。車の移動の際はローラーを鎖線の位置にするとともに突バリ(2)をほぼ垂直に立てる。



## 横坑掘進工法

特公 昭 32-7592

発明者 南 野 輝 胤

土壌の安息角またはこれに近い鋭角傾斜面を口端に設けた掘進刃口を、その先端を上位とし傾斜面が下向きになるようにして地層中に水平に推進し、推進にともなつて刃口内に切込まれた土壌を、刃口に沿つて掘除しながら掘進する。土壌を安息角またはこれに近い角度で掘除してゆくの、掘進路の土壌の安定を保ちながら掘進作業が進められる。

## 学会備付図書(国内)一覧(21)

### I. 昭.32.8.~9. 間に寄贈を受けた分

○日本土木行政並びに機械化施工の沿革 附内務省土木技術官:工博 真田秀吉(関東地建) ○チェボタリオフの土質工学 上巻:工博 石井靖丸訳(技報堂) ○土質力学 応用力学講座5-C:最上武雄・渡辺 隆・山口植樹(共立出版) ○水理学 標準土工学講座6:工博 永井在七郎(コロナ社) ○川崎発電所ケーソン基礎水平荷重試験 中間報告7-180:白石俊多(鉄道技研) ○日本電気協会第36回通常総会研究会講演論文集(日本電気協会) ○港湾技術の分類表 昭.32.7.:直轄港湾

技術研究会(運輸省港湾局建設課) ○欧米の高速自動車道路(欧米高速自動車道路調査報告書):藤森謙一(日本道路公団) ○自動車旅行の休泊施設:国際観光協会監修・鈴木忠義著(理工図書) ○建築士法関係法令集(昭.32.5.改訂版):建設省住宅局編(日本建築学会) ○耐震壁の配置に関する研究(II):工博 内藤多伸外12名(早大第一理工学部建築学科教室) ○図書目録1957(電力中央研究所電力技研)

### II. 昭.32.8.~9. 間に購入した分 なし

付記 学会備付図書(国内)一覧(20)は42-8-P.12に掲載